

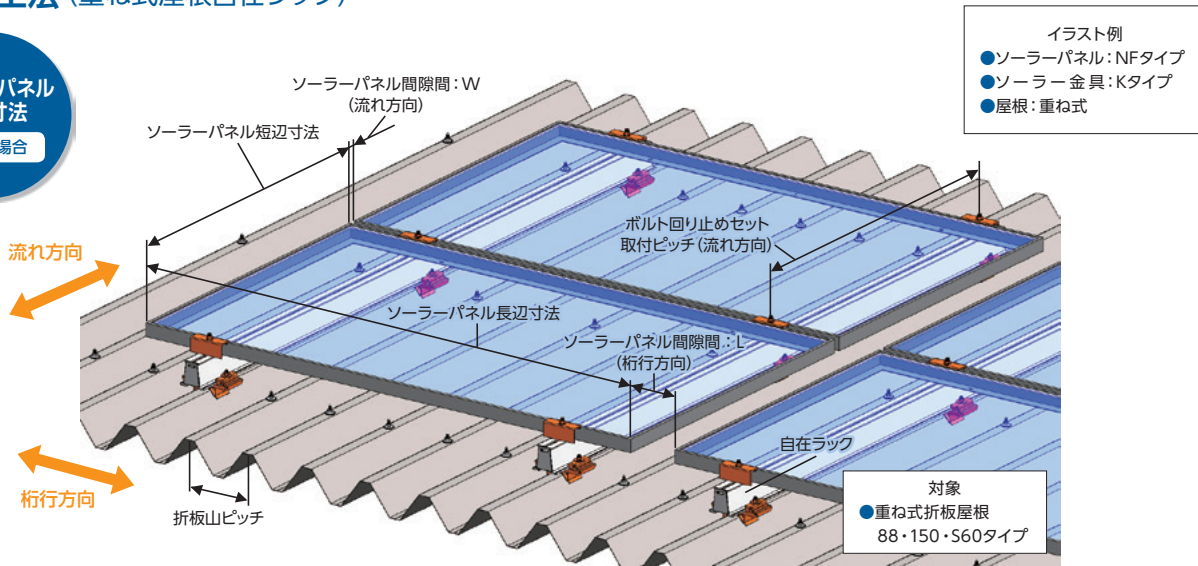
工法別共通事項

屋根上設置編

各部取合い寸法

④ ラック工法 (重ね式屋根自在ラック)

ソーラーパネル
配置寸法
横置の場合



※ソーラーパネルメーカー様にて隙間の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

ソーラーパネル間隙間 (桁行方向) : L

左右対称配置の場合 桁行方向 (最小寸法) : $L = \{ \text{折板山ピッチ} \times (\text{ソーラーパネル長辺寸法} \div \text{折板山ピッチ}) \} - \text{ソーラーパネル長辺寸法}$
↓
小数点以下切り上げて整数にする

偏心配置の場合 隙間は、屋根・建物・ソーラーパネルの強度・耐久性を考慮し、ソーラーパネルメーカー様の設置 (配置) 仕様 (条件) に準拠した上で、お客様にて決定してください。

※最小寸法が 5mm未満の場合は、折板山ピッチを加算してください。

ボルト回り止めセット取付ピッチ (流れ方向)

流れ方向 = ソーラーパネル短辺寸法+W (ソーラーパネル間隙間 (流れ方向))

自在ラック取付位置 (桁行方向)

桁行方向 : ソーラーパネルの取付穴付近に配置してください。

※ソーラーパネルメーカー様にて固定点数および固定位置の指定がある場合は、その指定に準拠してください。

設置条件について

①ソーラーパネル固定方法 : ソーラーパネルフレーム押さえ固定 4または6箇所留以上 (ソーラーパネル1台あたり)

②屋根なり設置 (屋根置き形) : アレイ面 (屋根面) = 屋根勾配=設置 (傾斜) 角度

③剣先ボルトに関して

I. タイトフレームに剣先ボルトがあり、剣先ボルトに著しい腐食・錆がなく、ネジ山に損傷がないこと。塗装されていないこと。

II. タイトフレームの座金付ナットが容易に外せること (座金付ナットが共回りしないこと)。

III. タイトフレームの剣先ボルトの径 (インチまたはミリ)、材質・表面処理 (めっきまたはステン) ⇒詳細はP 47

IV. 剣先ボルトの出寸法 (有効ネジ部)・・・ソーラー金具取付時、六角ナット (ダブルナット) の有効ネジが剣先ボルトに全て入っていること。

(必要な出寸法 88タイプ : 10 ~ 15mm、150・S60タイプ : 10 ~ 20mm) ⇒詳細はP 47

※その他の設置条件についてはソーラーパネル寸法・梁間ごとの設置条件を参照してください。